学校番号	3019

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語科	英語コミュニケーション II	2	第２学年	東京書籍「All Aboard! English Communication II」(CII701) 東京書籍「All Aboard! English Communication II ワークブック」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーション II の授業は、英語コミュニケーションⅠで学んだ「聞くこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能５領域の力をさらに伸ばす授業です。聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動に加えて英文法も学びます。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習しましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。 ダンスや物の制作など一連の行動の手順について、ゆっくりはっきりと指示されればそのとおり行うことができる。	有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。	自分のことや身の回りのことについて簡単な紹介や説明を求められても、即興で適切に応答することができる。	簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。	身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Lesson 1 “A Colorful Island” 関係代名詞：what	聞くこと	a: SNS にアップされた海外旅行の報告や，海外で行ってみたい場所についてのスピーチや対話の概要を捉えることができる。 b: 話し手の話す内容を聞き取れる。 c: 話し手の話す内容を聞き取ろうとしている。	リスニング （授業内）
		読むこと	a: SNS にアップされた海外旅行の報告の概要を捉えることができる。 b: 聞き取った言葉が実際にどのような語句で表されるかを理解する。 c: 聞き取った言葉が実際にどのような語句で表されるかを理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 海外の観光地について学んだり，海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて整理して話すことができる。 b: 海外の観光地について学んだり，海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて整理して話している。 c: 海外の観光地について学んだり，海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて整理して話そうとしている。	プレゼンテーション （授業内）
		書くこと	a: 海外の観光地について学んだり，海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことを書くことができる。 b: 海外の観光地について学んだり，海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことを書いている。 c: 海外の観光地について学んだり，海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことを書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 2 “With the Beatles” 比較表現：more, the most	聞くこと	a: 比較表現〈more〉〈the most〉の理解をもとに，世代を超えて人気のある音楽バンドや，T シャツについての対話の内容を聞き取る技能を身につけている。 b: 世代を超えて人気のある音楽バンドや，好きな人物について話されるスピーチや対話の概要を捉えている。 c: 世代を超えて人気のある音楽バンドや，好きな人物について話されるスピーチや対話の概要を捉えようとしている。	リスニング （授業内）
		読むこと	a: 比較表現〈more〉〈the most〉の理解をもとに，世代を超えて人気のある音楽バンドについて書かれた対話の内容を読み取る技能を身につけている。 b: 世代を超えて人気のある音楽バンドについて書かれた対話の概要を捉えている。 c: 世代を超えて人気のある音楽バンドについて書かれた対話の概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やりとり）	a: 世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり，好きな人物について自分で調べた事柄を用いて，理由などを伝え合う技能を身につけている。 b: 世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり，好きな人物について自分で調べた事柄を用いて，理由などを伝え合っている。 c: 世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり，好きな人物について自分で調べた事柄を用いて，理由などを伝え合おうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり，好きな人物について自分で調べた事柄を整理・理解している。 b: 世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり，好きな人物について自分で調べた事柄を用いて，理由などを書いている。 c: 世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり，好きな人物について自分で調べた事柄を用いて，理由などを書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	期末考査			
2 学期	Lesson 3 “Wild Men” it の用法	聞くこと	a: it を用いた文〈It is … (for —) to ～〉〈It is … that ～〉の理解をもとに，ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」に	リスニング （授業内）

			ついてのスピーチや，ある行動に対する意見や感想を述べる対話の内容を聞き取る技能を身につけている。 b: ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチや，身近な行事や祭りについて話されるスピーチや対話の概要を捉えている。 c: ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチや，身近な行事や祭りについて話されるスピーチや対話の概要を捉えようとしている。	
		読むこと	a: it を用いた文〈It is … (for —) to 〜〉〈It is … that 〜〉の理解をもとに，ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチの内容を読み取る技能を身につけている。 b: ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチの概要を捉えている。 c: ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチの概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり，身近な行事について自分で調べた事柄を用いて，身近な行事や祭りについて話す技能を身につけている。 b: ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり，身近な行事について自分で調べた事柄を用いて，身近な行事や祭りについて整理して話している。 c: ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり，身近な行事について自分で調べた事柄を用いて，身近な行事や祭りについて整理して話そうとしている。	プレゼン テーション （授業内）
		書くこと	a: ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり，身近な行事について自分で調べた事柄を用いて，身近な行事や祭りについて紹介する文を書く技能を身につけている。 b: ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり，身近な行事について自分で調べた事柄を用いて，身近な行事や祭りについて紹介する文を書いている。 c: ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり，身近な行事について自分で調べた事柄を用いて，身近な行事や祭りについて紹介する文を書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 4 “Little Hero” 間接疑問文	聞くこと	a: 間接疑問文の理解をもとに，ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にした物語や，相手に間接的に自分の疑問を伝える対話の内容を聞き取る技能を身につけている。 b: ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にした物語や，好きな物語について話されるスピーチや対話の概要を捉えている。 c: ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にした物語や，好きな物語について話されるスピーチや対話の概要を捉えようとしている。	リスニング （授業内）
		読むこと	a: 間接疑問文の理解をもとに，ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にした物語の内容を読み取る技能を身につけている。 b: ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にした物語の概要を捉えている。 c: ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にした物語の概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やりとり）	a: ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んで物語の結末を想像したり，好きな物語について自分で調べた事柄を用いて，考えや理由などを伝え合う技能を身につけている。 b: ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んで物語の結末を想像したり，好きな物語について自分で調べた事柄を用いて，考えや理由などを伝え合っている。 c: ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んで物語の結末を想像したり，好きな物語について自分で調べた事柄を用いて，考えや理由などを伝え合おうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり，好きな物語について自分で調べた事柄を用いて，好きな物語を紹介する文を書く技能を身につけている。 b: ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり，好きな物語について自分で調べた事柄を用いて，好きな物語を紹介する文を書いている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）

			c: ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり，好きな物語について自分で調べた事柄を用いて，好きな物語を紹介する文を書こうとしている。	
	期末考査			
3 学期	Lesson 5 “Special Makeup in Kabuki” to 不定詞を含む表現	聞くこと	a: to 不定詞を含む表現の理解をもとに，歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドや，友達にしてもらいたいことについての対話の内容を聞き取る技能を身につけている。 b: 歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドや，日本の伝統文化について話されるスピーチや対話の概要を捉えている。 c: 歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドや，日本の伝統文化について話されるスピーチや対話の概要を捉えようとしている。	リスニング （授業内）
		読むこと	a: to 不定詞を含む表現の理解をもとに，歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドの文章の内容を読み取る技能を身につけている。 b: 歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドの文章の概要を捉えている。 c: 歌舞伎と隈取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドの文章の概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 歌舞伎と隈取について学んだり，日本の伝統文化について自分で調べた事柄を用いて，日本の伝統文化について話す技能を身につけている。 b: 歌舞伎と隈取について学んだり，日本の伝統文化について自分で調べた事柄を用いて，日本の伝統文化について整理して話している。 c: 歌舞伎と隈取について学んだり，日本の伝統文化について自分で調べた事柄を用いて，日本の伝統文化について整理して話そうとしている。	プレゼン テーション （授業内）
		書くこと	a: 歌舞伎と隈取について学んだり，日本の伝統文化について自分で調べた事柄を用いて，日本の伝統文化を紹介する文を書く技能を身につけている。 b: 歌舞伎と隈取について学んだり，日本の伝統文化について自分で調べた事柄を用いて，日本の伝統文化を紹介する文を書いている。 c: 歌舞伎と隈取について学んだり，日本の伝統文化について自分で調べた事柄を用いて，日本の伝統文化を紹介する文を書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度